



休日 日曜大衆日
一ヶ月二十五日
郵部 二十五日
部 二十五日
料 四〇銭
行 廿五銭
所 廿五銭
行 廿五銭
所 廿五銭

勿來の大日本炭礦で 高級役員十七名被首

經營維持の爲め餘儀ないらし いが手當が僅少からこたう

石城郡勿來町の大日本炭礦が如何なる形に不平組の
で現下の業績不振に對する
善後策を協議中であつた
が若手の望みをもたぬでも
なかつた警備村三井炭礦の
体山による

好波の如き共濟會で 村を打つて一丸 とする社會事業

石城郡内郷村では四家又一
大内民恵兩共濟委員及び村
内有志の奔走により同村自
營の共濟會を計畫されてお
り去月下旬比較的高給役員
である五味某外十六名の役
員を撤首した從來同炭礦は
役員炭礦と云はれる程に勞
働者數との

内郷村に 共濟會

立協議會を開き村議一同の
賛成を得ると同時に共濟委
員たることに決したので第
一條から十二條に及ぶ會則
案を附議散會した同會は遅
くも本月中に實現するであ
らうと。

水道には 深い經驗

平水道課長に
なつた山下氏
平町水道課は香野課長の後
任を町水道新設の際に努力
した技師山下勝慶氏を起用
局並に同課普及會が主催で
するに決し十日町長室に町
議各派各表を招き右を報告
役場前廣場に於て開催する
すると同時に辭令を發して
山下技師は十一日から課長
の椅子に着いたが同氏は當
年五十五歳で東京、大阪
宇都宮、久留米等水道専門
を職を経て今日に至つた水
道に對して深い經驗である

秋 演習召集

第二師團秋期演習に平町か
ら左記日割で四名の將卒が
九日召集を受けた。
▲野砲兵豫備少尉丹吳忠
雄(才穂小跡)十月十八日
から廿一日間 ▲歩兵豫
備一等卒鈴木甚三郎(大
工町)十月十二日から二
十八日間 同山崎庄平(ぎ
湯本町宇三圃地先園道を

競演會

今夕役場前で シヤンガラの

石城特有のシヤンガラ念佛
競演會は福島毎日新聞平支
した技師山下勝慶氏を起用
局並に同課普及會が主催で
するに決し十日町長室に町
議各派各表を招き右を報告
役場前廣場に於て開催する
すると同時に辭令を發して
山下技師は十一日から課長
の椅子に着いたが同氏は當
年五十五歳で東京、大阪
宇都宮、久留米等水道専門
を職を経て今日に至つた水
道に對して深い經驗である

湯本町でも自治會と 理髮組合とたたく

理髮料値下の要求は最近愈
よ一般の聲となつて平町に
於ても料金問題を中心とな
する中であるが警備炭礦で
も指定理髮店に於ける従來
の料金廿銭を十八銭に
引下へく目下炭礦側
から要求され次へで湯本町
もまた入山炭礦自治會に出
してゐた部會發行の理髮券
廿三銭を廿二銭に値下され
たとの

梨代廿四圓を 飲て如何

小名濱町日雇
業の大盡遊び
石川徳壽氏等の仲裁案廿一
錢を以て握手せしむべく調
停に努力されてゐるが若し
組合に於て之れを容れざる
場合は同額に有利の
位置を占めてゐる三
店舗が前記廿錢で指定を受
け得るの策動が現はれてゐ
るに於て荷馬車を宇田町元商

自動車の 突倒さる

湯本町にて
石城郡内郷村の新町自動車
から廿一日間 ▲歩兵豫
備一等卒鈴木甚三郎(大
工町)十月十二日から二
十八日間 同山崎庄平(ぎ
湯本町宇三圃地先園道を

自家 醸造法

製麴 麴室は四乃至
六疊の部屋を目張して使用
するのよい、室の温度は
攝氏二十五度(華氏七十七
度)位乾燥の差は四度内外
を保ち得るならば何處でも
よろしい
麴は乾燥した鮮かな糖漿
種色のものが新しいので灰
必す塵の上にひき割小麦を
かつ色のものは古いのです
平にひろげて置き其の上

業學校前に繁き新田町の金其頃の私は教案を書くとか
樹料理店及び鎌田町遊廓豆
月未統計をつくるとかに必
要な次の教育書や教育法規
は讀みましたが敵は本能寺
費消して平署に檢舉取調べ
にありで、士官候補生試験
の上十日検事局に一件書類
を送致さる。

四倉市況
四倉市市場に於ける九日の
相變らず一里余の田舎道を
出荷は三五八貫六百八十四
圓で當日の相場は左記の如
例の通り「人間の務」に黙々
と開市以來の累計三萬三百
十四貫四萬四百五十九圓に
達した。

出生と死亡
▲出生、平町宇杉平二〇
ノ五戸主三吉婿養子野崎
順長男最九月二日午前五
時杉平に於て

参考資料
大内民恵
改革概論(138)

自家醸造法(三)
製麴 麴室は四乃至
六疊の部屋を目張して使用
するのよい、室の温度は
攝氏二十五度(華氏七十七
度)位乾燥の差は四度内外
を保ち得るならば何處でも
よろしい
麴は乾燥した鮮かな糖漿
種色のものが新しいので灰
必す塵の上にひき割小麦を
かつ色のものは古いのです
平にひろげて置き其の上

自家醸造法(三)
製麴 麴室は四乃至
六疊の部屋を目張して使用
するのよい、室の温度は
攝氏二十五度(華氏七十七
度)位乾燥の差は四度内外
を保ち得るならば何處でも
よろしい
麴は乾燥した鮮かな糖漿
種色のものが新しいので灰
必す塵の上にひき割小麦を
かつ色のものは古いのです
平にひろげて置き其の上



俳句 (八)

満壽壯主人
梶の葉を朗詠集のしをり
かな 蕪村

讀した朗詠集を閉づるの
に後日の便りにしをりした
のは折から七々に供へた梶
の葉であつた此の言外の
妙味は前章の菅草の朗詠
抄の事など参照せば一層深
かるべし

梶の葉に心ある虫の喰ひ
様や 一茶

梶の葉に虫喰のあとがある
其のあとがなんとなく和歌か
俳句でも書いた様に嵯峨や
うの假名文字らしく見へる
出すらも天の二星に何事
か願はんとてこのこゝろあ
る喰様を たゞであるか
書余をねがひや梶のうら
おもて 多代女

其願は戀かあらぬか何と戀
の深い事デヤやら

立翠に一葉のさはる今よ
いかな 乙山

此次第に曰く乞巧奠に御所
よりこぞ一紙を申し下し東
北西北の机上のつまに置く
註に延喜拾五年の例和琴
用ふ水集に
たなばたのあふ夜の庭に
おく琴のあたりに引くは
さゝがに(くもの事)の
糸

立翠と云ふは右にて明かな
るべし坊間これを真似て庭
前に琴を置きたるにさすが
季候は秋なればや風なきに
散らしと葉のスルリと
に觸れて微妙の音をたてた
は我願ひの叶ふしし

恐怖時代の
動脈硬化症
豫防及治療新薬

アイヨール錠

試用 二圓
中瓶 六圓
大瓶 廿圓

發賣以來
白熱的に
歡迎せらる

特約店
山野邊藥局
平町五丁目

金物問屋 高久商店

警備平町
電話一三九番
警備一三九番
警備一三九番

初秋とサロンの
樽詰生ビール並に
タンク入りソーダ水

ソップ
ソーダ水
各種
十五
十五
鏡鏡鏡

どうぞ御散歩がてらに御来店を
美味で 平町田町 サロ
サロンの公休日は毎月第火曜日 電話三五二番

破格の勉強で
歡迎される
静岡本場 大角園特
小笠茶 半谷商店
平町若松病院隣

スペイン G.H.N 元詰
葡萄酒
甘味葡萄酒
ゴルフ 1.10
御婦人の方には少し水を加へて
召し上ると風味一層佳良です
(電話) 西村屋薬舗 三番

内外科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
院長 醫學士 高久 忠

入院患者 自炊の便あり
明雲堂眼科醫院
平町前 電話一六九番

ライト
寫真館
平町才植小路
電話八四七番

モリタヤ洋品店
五丁目 電話三五三番

ガソリン
モーター油
日本石油
株式會社
特約販賣
支店 山形市
支店 仙台市
支店 盛岡市
支店 秋田市
支店 岩手県
支店 宮城県
支店 福島県
支店 茨城県
支店 栃木県
支店 群馬県
支店 埼玉県
支店 千葉県
支店 東京都
支店 神奈川県
支店 静岡県
支店 愛知県
支店 岐阜県
支店 富山県
支店 石川県
支店 福井県
支店 長野県
支店 新潟県
支店 山梨県
支店 長野県
支店 静岡県
支店 愛知県
支店 岐阜県
支店 富山県
支店 石川県
支店 福井県
支店 長野県
支店 新潟県
支店 山梨県

御進物には
商品切手
味噌醬油
正宗
鐘詰鯉節
山崎會社
醸造部 二七番
営業部 一〇番

高久病院
院長 醫學士 高久 忠

玉の肌石鹸
優雅な匂ひ
素的な感じ
姉妹品
歌舞伎石鹸
一個 拾五錢
打半 八拾錢
一個 拾五錢
打半 八拾錢

モリタヤ洋品店
五丁目 電話三五三番

入湯時の快感を
カクニ石鹸で
品質純良
價格低廉
心地よい泡立
優雅な香

壹金拾錢
ツルヤ
平町四丁目
電話一四〇

お子様同伴
のご散歩に
保健と衛生
を兼ねたる
乳母車各種
平町三丁目 電話三五九番
各種 丸ぼん

小店員 委細
募集 面談
玉屋洋品店
平町田町通り
電話六五六番

味噌醬油
正宗
鐘詰鯉節
山崎會社
醸造部 二七番
営業部 一〇番

安流丸
諸毒下しの大妙薬
特約店 山野邊藥局

カクニ石鹸
品質純良
價格低廉
心地よい泡立
優雅な香

お子様同伴
のご散歩に
保健と衛生
を兼ねたる
乳母車各種
平町三丁目 電話三五九番
各種 丸ぼん

小店員 委細
募集 面談
玉屋洋品店
平町田町通り
電話六五六番

味噌醬油
正宗
鐘詰鯉節
山崎會社
醸造部 二七番
営業部 一〇番